

保育おおさか

No. 428

平成 23 年 4 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪市中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

東北地方太平洋沖地震

今すぐの支援と長期的な支援の両方が大切
支援できる準備を整えよう

——大阪府社協・臨時施設正副部会長会議

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の被災者支援対策として、3月17日に臨時の施設正副部会長会議が開催されました。会議では、同月15日に開催された全国社会福祉協議会(以下「全社協」)社会福祉施設協議会連絡部会長会議の報告、大阪府社協の対応の報告、要援護者の受け入れ、介護職員や児童福祉関係職員の派遣などが協議されました。

冒頭、全社協社会福祉施設協議会連絡部の委員長でもある高岡国土部会長(経営者部会)が「被災地では水や食糧品が不足している。しかし、ガソリンも不足しており、救済物資を送っても配送する手立てがない状況である」と報告されました。

同連絡部会長会議では、次の3点について早期に実施することを確認された旨の報告がありました。

- ① 社会福祉法人、福祉施設関係者に対する義援金の募集
- ② 政府、関係省庁への生活物資(燃料、水、食糧品など)確保に関する緊急要請
- ③ 現地調査実施(全社協職員の派遣)

大阪府社協の対応は、義援金口座の開設、全社協・近畿各府県社協との連携による情報収集の実施、1週

間のローテーションでの職員派遣などです。地元県社協では職員自身が被災しており、ボランティアなどの受け入れ体制づくりができてない状況も報告されました。

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

被災地の皆様のご健康と1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

募金活動にご協力ください

保育部会および保育士会では、被災地支援のための募金口座を開設しました。保育三団体共同で実施される募金への協力ならびに被災地域の保育園運営への支援や保育ニーズへの対応に関わる活動などの資金として活用させていただきます。

口座名

りそな銀行 大手支店 普通
NO.3010040
(福) 大阪府社会福祉協議会
保育部会長 永野治男(ながのはるお)

大阪府からは、厚生労働省より通知のあった要援護者の受け入れ、介護職員、児童福祉関係職員などの派遣などの報告。市町村などを通じた要援護者の受け入れ調査や社会福祉法人への介護職員などの派遣依頼調査を行っているが、集約したその後の情報・対応については未定であるとのことでした(3月17日現在)。

出席者からは「今すぐの支援と、これからの長期的な支援の、両方が必要」「支援できる準備を整えておく必要がある」との意見が出されました。被災地への支援活動については、支援体制づくりを行いながら、日々進んでいます。現在の支援状況については、大阪府、全社協、大阪府社協などのホームページでも逐次、情報提供されていますので、ご参照ください。



小欄を書こう
としている時、
東北地方を震源とする地震が発生した。大阪は少々揺れる程度でしたが震度を見るためテレビをつけました。

しばらくすると自然の力の前では人間がいかに無力であるか、テレビに映し出され、揺れの怖さよりも、津波の圧倒的な力に恐ろしさを覚えました。一瞬にして町を飲み込み、存在していたものを無にしてしまった。虚無感だけが残りました。

地球は生命体なのか。地震は生命活動の一つなのか。知恵と技術で文明を築き上げた人間であるが、地球にとっては何なのか、一部分に過ぎないのか。

自然の脅威を目の当たりにすると、人間なんてちっぽけなものだと感じます。連日報道されていた世界情勢や政局のゴタゴタが馬鹿らしく思えます。

しかし、これからがちっぽけな人間の力の見せ所。国をあげて被災者に対する支援と復興へ向けて取り組みが早急に進められることを願うとともに自園の防災に対する意識をあらためて考えさせられました。

(編集委員 H・M)

子どもの安全を守るために

— 保育現場における法医学的視点

保育部会・職員研修会「子どもの安全を守るために—保育現場における法医学的視点」が3月3日、業年金会館で行われ、河野朗久氏（河野外科医院理事長・大阪府監察医・医学博士）が講演されました。

乳幼児の死亡につながる原因として、窒息・転倒・転落・感染症・肺炎・虐待・SIDSがあります。その中でも現在、特に問題となつて



講演する河野氏と熱心に講義を聴く参加者

私たちには通告の義務があり、異常な傷などを発見した場合、児童相談所や警察に通告をしなければならぬこと、その際に大切なことは、「初めに発見した段階で、自然な体位での全身像を傷の真正面から写真で残し、できるだけ細かく記録を残すこと」と指摘されました。

虐待する親も悩んでいる 地道な努力で虐待減らす

虐待を受けている子どもだけではなく、虐待をしている親も悩んでいるケースも実際にはあります。その場合、相談に乗り、手を差し伸べ、保護者の負担を軽減し、一人で抱え込まないための環境整備をするなど、地道な努力で虐待は減らしていくと述べられました。

傷を見た際は、「ひどい」「なんてことを」という思いの次に、「どうしてここまでしてしまったのか」「お母さん（子ども）に対し、自分たちがしてあげられることはなかったのか」と感じるようになってほしいと指摘されました。

で治療が必要であるとも話されていきました。

また、不慮の事故については、転倒や転落などでの軽い頭部打撲でも不顕性の硬膜下出血により死亡することがあるため、頭の外傷はなくても一度、医師の診断を受ける重要性も強調されました。

保育士一人ひとりが責任を持ち行動

実際に虐待を受けた子どもの傷や姿の写真は、どれも想像を絶するものばかりでした。あらゆる所で、さまざまな虐待が行われていることを知り、自分にできることは何か、改めて考えさせられます。一人の力は小さいかもしれないが、保育士一人ひとりが責任を持ち、行動をすることによって、大きな力になるのではないかと思います。子どもの安全を守るため、今回研修で学んだことや感じたことを日々頭に置きながら、今後の保育に活かしていきたいと思えます。なお、この研修会は大阪府社会福祉施設人権活動推進協議会との共催により実施されました。（玉川橋保育園K・K）

実績・実践を目に見える形に

— 地域貢献事業の「記録様式」完成

● 地域貢献事業推進委員会 ●

い。平成23年度以降の実績調査については、半年度ごとの実施を予定しています。

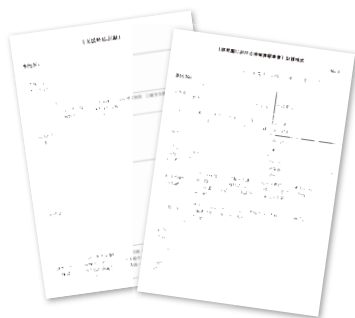
「記録様式」「実績調査票」は、本紙4月号に同封しています。

「記録様式」データについては、保育部会ホームページからダウンロードが可能です。「記録様式」の活用方法や実績調査については、事務局までお問い合わせください。

民間保育園の地域貢献事業の実績および実践を目に見える形とするため、地域貢献事業の「記録様式」が完成しました。

記録様式には最低限必要である項目をあげていますが、個人情報保護などの観点から、配慮しなければいけない個人情報・プライバシーに関わるものがありますので、各園で十分工夫して活用してください。

各園で「どのような相談を受け」、「どのように対応・支援したか」について、取り組み実績調査を実施させていただきます。「これだけの実績や実践をしている」ということを目に見える形にできるよう、各園の情報を提供くださ



TEL 06-6762-9001

URL <http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/>

みかん狩り、お泊まり保育、 いも掘りなどの園外行事

「算盤」を保育に取り入れ
基本的な「学ぶ」態度養う

大東市

灰塚保育園



めっちゃおいしーっ！



白浜海岸にて

大東市南部にある灰塚保育園は昭和63年設立、定員60人の保育園です。前号で紹介の泉保育園の姉妹園です。

まわりは民家が密集しているため、園から漏れる「音」に大変気を遣っておられ、例えば運動会では、園庭では見学席を十分に確保できないこともあって、近くの灰塚公園を利用しています。

園内で行う生活発表会でも、二つの保育室の間にある可動式の壁を外し、舞台と観客席を確保し、舞台の組み立て、大道具・小道具の準備と後片付けなどは、運動会以上に大変だろうと想像されます。

姉妹園共通の園外行事が三つあります。まず、観光バスで行く本場和歌山県の「みかん狩り」。

次は白浜へ、年長の「お泊まり保育」です。アドベンチャーワールドへ行ったり、砂浜で遊んだり楽しんで、砂浜で盛りだくさんです。私の園では、海に行く機会がないので、羨ましい限りです。

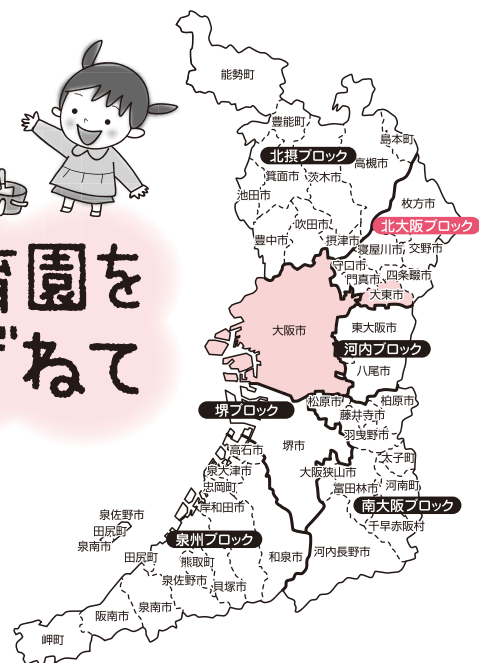
そして、姉妹法人の幼稚園から園バスを借りて行く「いも掘り」があります。多彩な経験を通じ、多くの人との出会いによって、園児たちの心の成長を育んでいます。

園に共通する保育の理念として、「躰」をとても重視されています。理事長が算盤の先生ということもあって、設定保育の中に「算盤」を取り入れ、「数」「姿勢」「集中力」を養い、「学ぶ」ための基本的な態度を身に付けるように指導をされています。今、一番必要なことではないかと思いました。（編集委員J・H）



保育園を たずねて

423



天王寺夕陽丘保育園は、地下鉄谷町線四天王寺夕陽丘から徒歩5分ほど。昭和24年開園で、定員150人。周辺地域では近年、マンションや住宅が建ち並び密集地です。

保育園では、待機児童解消の一翼を担うべく、近くにも分園を2カ所開設しています。都市部での地価はたいへん高騰しており、物件を探すのにたいへん苦労されたようですが、条件に合ったものがやつと見つかったとのこと。この分園へは0〜1歳児の子ど

もが通園し、2歳児以上は本園へ通園しています。

「乳児と幼児はもちろん、職員同士のコミュニケーションを図る上でも、分園との交流を大切にしています」と、山口浩子園長は話しておられました。

また、保護者の多様な就労形態に則して、延長保育などの特別保育事業にも力を入れておられます。保護者の多様なニーズに対応することにより、保護者との信頼関係を築いておられることを強く感じました。

都会にある保育園ゆえの限られた環境下でも、より良い保育を目指し、子どもたちが多彩で豊かな経験が



みんな仲良し、楽しいな！

家族のような雰囲気と 温かみ溢れる保育園

子どもも職員も
体いっぱい使った保育

大阪市

四天王寺夕陽丘保育園

園長先生はまた、「子どもたちが都会にありながらも、健やかに育ってもらえるよう、家族のような雰囲気と繋がりを大切に、温かみ溢れる保育園を目指したい。そのためには、職員が子どもたちといっしょに体をいっぱい使って、日々を過ごせるような保育に励んでいきたい」と力強く語っておられました。

(事務局)

足腰きたえ、五感みがく散歩 生きる力はぐくむ食事

保護者も、地域の人も
ホッとできる保育園

東大阪市

ポッポ保育園



ザブザブ、気持ちいいな～



散歩、ルンルン♪

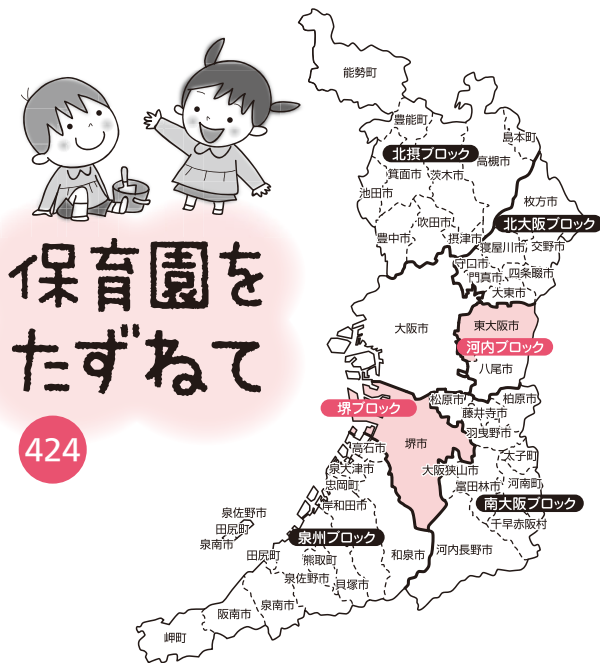
設 立から32年間、共同保育所として運営されてきたポッポ保育園は、「子育ての灯を消さないで」という地域の方々の熱い想いに支えられて2002年4月、「社会福祉法人鴻池ポッポ福祉会ポッポ保育園」として新たに誕生しました。0歳から2歳まで、定員20人です。

毎日のようにお散歩に出かけています。仲良しの犬に挨拶をしたり、田んぼへカエルを取りに行ったりと、保育園の周りの住宅地は、子どもたちにとってなくてはならない遊びの空間です。日々の散歩は、「子どもたち

地域の人たちの子育ての輪を広げる場として、「園庭開放」や「親子教室」も行っています。多くの親子が参加でき、保護者同士も気軽に話し合える居心地のよい保育園です。

来年は開園10周年のポッポ保育園ですが、地域のお祭りや催しにも、積極的に取り組まれ、交流を深めておられます。「保護者がホッとできる園、子育てセンターとして

地域の方がホッとできる園。そんな大人たちの輪の中で、子どもたちがすくすくと育っていく保育園をめざして、一步一步、歩みを進めていきたい」と、園長先生は熱く語っておられました。（編集委員Y・N）



保育園を
たずねて

424

堺 市北区にある新金岡西保育園は、公立保育所の民間移管を受け、平成19年社会福祉法人関西福祉会新金岡西保育園として新設・開園した定員180人の保育園です。

地下鉄御堂筋線新金岡駅から徒歩数分。近隣には金岡公園、新金岡公園、大泉緑地があり、四季折々、自然に触れることのできる恵まれた環境の中、運動場でも、子どもたちはのびのびと遊んでいました。暖かい日差し

の広い廊下では、乳児が幼児の活動を楽しそうになが、心身共に健やかに成長できるように、基本的な生活習慣や、遊びを通して「創造」「友達との関わり」「ルール」を身につけ、意欲的・主体的に生きる力を培えるように日々の保育をされています。



外観が素敵な園舎

四季折々の自然にふれ
生きる力を身につける

保育園・家庭・地域一体で
人間性豊かな子どもを育む

堺市

新金岡西保育園



高く跳べたぞ～！

長野保育園
河内長野市

小さな天才たちからもうっ 大きなパワー

山本 英雄さん

唯一の男性保育士として
この保育園に入り、早いも
ので5年が経ちました。

新任当初、毎日の保育
に追われ、男性保育士の意

義も分からない日々が続く
中、運動会に向けた練習
で、鉄棒・跳び箱・マット、
さらには組み体操や和太鼓
と、多くのことを覚えて成
長していく子どもたちを
見て、「子どもたちは覚え
ることの天才」と強く感
じました。それでも何日
か、練習をしない日が続
くと、子どもたちはあつ
という間に忘れてしま
います。子どもたちは忘れ
ることも天才なのです。
こうした経験から「毎日
続けることの大切さ」を



男性保育士がいる 保育園

がんばる男性保育士の声と園長先生の
コメントを紹介します

みんなの保育園
堺市

子どもの成長を身近で感じるよう ができる保育士って素敵なお仕事

村中 淳さん

子どもが大好きで、子ど
もと関われる仕事をした
い、という思いから保育士
を志しました。実際、保育
士になって日々保育に励む
中、子どもたちの成長をす
ぐ近くで感じることができ
るのは、本当に幸せなこと
だと思っています。

春の頃の子どもたちの
姿、運動会や生活発表会と、

数多くの行事を経験し過ご
した一年後には、子どもた
ち一人ひとりととても大き
な成長を見ることができま
す。子どもたちの頑張り、
やってみようと思える勇気
や自信、みんなでやり遂げ
る姿など、感動いっぱいの一
年間です。

「頑張った」「本当に大き
くなった」と、保護者と共

を感じ、先輩方の協力のもと、
子どもたちと跳び箱の練習
を毎日続けた日のこと、あ
る子どもがついに夢にまで
見た跳び箱10段を跳ぶこと
に成功。私は先輩方と大声
で喜び合いました。何より
も子どもたちの頑張り、と、
誇らしげな表情から大きな
パワーをもらいました。

こうした経験から私は現在、
体育と和太鼓の指導を
中心に、子どもたちと練習
を日々続けています。

まだまだ希少な男性保育
士ですが、その分、他園の
男性保育士の頑張りや評判

（園長から）
今日も年長組の保育室に
子どもたちの元気な声が響
き渡っています。本園の柱
の一つである、朝活動にお
ける跳び箱の練習です。傍
らには、温かいまなざしで
子どもたちの補助をする彼
の姿があります。男性の彼
が一声発すると、そこには
緊張感が張り詰めます。「継

に確かめ合い、共感し合
い、喜び合えることも、保
育士という仕事の嬉しさ
であり、素晴らしいことです。
保育士になって良かった
と感じ、力が湧いてくる
時でもあります。

子どもたちの姿から新
しい発見や多くのことを
学び、子どもたちの笑顔、
成長を糧に、保育士として、
また、人として、これからも
技術・技能を伸ばし、自分自
身も成長していきたいです。

そして、男性らしさや力
強さも保育に繋げ、男性保

を耳にすると、とてもうれ
しい気持ちになります。
将来、男性保育士を目指
す後輩たちから、目標にさ
れるような保育士になるべ
く、これからも頑張ります。

本園ではまた、「保育から
学びへ」という新たな目標
をきっかけ、全職員でこれに
取り組んでいます。その一
つに「和太鼓の活動」があり
ます。毎年、河内長野市立
文化会館ラブリールホール
の舞台にも立っています。

この2つの大きな柱の中
心として、山本先生には、
保育士や子どもたちの牽引
役として頑張ってもらいた
いと思っています。



気持ちをあわせて

育士ならではのと思ってもら
えるように頑張っていきた
いです。

（園長から）

「おはようございます」と
人の目を見て挨拶すること
をモットーにしている村中
先生です。優しいピアノの音
色と、子どもの立場に立った
言葉かけで、子どもを優し
く包み込む村中先生は、一人
ひとりを大切に、丁寧な保
育を展開し、乳児にも保護
者にも信頼されています。

責任感がとても強く、こ
だわったら、とことんやり
たいという思い、そして、
最後までそれをやりきる誰
にも負けない意志を持って
いると思います。

園運営に関わる担当や係
にも積極的な姿勢と秘めた
力で、保育園を支えてくれ、
頼もしい限りです。

北大阪

明日への活力
園児と楽しむ体操

―子育て支援研修会

第10回子育て支援研修会が2月9日、守口市市民会館で開催されました。講師には日本3B体操協会大阪支部公認指導者の円城寺久美子氏ほか6人の講師が3つ

のテーマで研修されました。

第Ⅰ部は、「体、元気ですか？」がテーマ。「体をほぐし、見つめなおすことで、日ごろの疲れをとりましょう」という先生の元気な声で研

修が始まりました。ウォーミングアップ、ストレッチ、そしてバルターという運動器具を用いての全身運動に、日ごろ使わない筋肉を使い、心地よい疲労感を感じました。



バルターを使っの全身運動

第Ⅱ部は、「園児と楽しみながら体力アップ!!」。バルターという運動器具を使って、子どもたちが大好きな「ドラえもん」の曲に合わせて運動。日ごろの保育にも取り入れていけそうで、保育士たちも子どものように楽し

しんでいました。

第Ⅲ部は、「親子で楽しむエクササイズ」。親子で楽しめるバルを使った運動で、保護者にとつてはストレッチで体をリフレッシュできます。子どもとも触れ合うことで、コミュニケーションをとることもでき、互いにプラスになる運動でした。

3B体操は、「競技スポーツ」ではなく「楽しむスポーツ」です。小さいころに親子で触れ合った楽しい経験は、子どもの心と体の成長

南大阪

年々レベルアップする
恒例・年長児サッカー

南大阪ブロックでは3月2日、毎年恒例の年長児卒園記念サッカー大会を太子町総合スポーツ公園で行いました。21カ園、530人

子どもが参加し、優勝を目指して多くの熱戦が繰り広げられました。雨天のため一時は開催が危ぶまれましたが、何とか開催することができました。どの子どもたちも試合になると真剣なまなざし、勝って喜ぶ姿、負けて悔しがる姿など、子どもたちのさまざまな表情が見られました。

この大会も回を重ねるごとに、年長児とは思えない華麗なプレーが見られるようになり、年々レベルが上がっているように思えました。



思いきり体を動かす子どもたち

(編集委員H・M)

旬
被災地にも春。復興と再生へ
いま私たちにできる支援は

「早く逃げて!」と住民に避難を懸命に呼びかけ続けた危機管理課の女性職員は職務を最後まで果たし、想像を絶する津波にのまれた。

では計画停電。この際、節電に努め、必要以上の照明電球を抜くぐらいの対処が必要では。原子力に頼れないのであれば、暗い中で生活を余儀なくされることも。いま被災地の復興と再生には、あらゆる支援が必要だ。堺市で

東北地方太平洋沖地震。途方もないエネルギーの噴出。津波に押し流される家や車を映すテレビに、開いた口が塞がらず。今回の震災は規模も範囲も広く、余震がまだまだ続き、二次災害の危険もある。こんな時は素人が行って救援の邪魔にならないよう、プロに任せるべきだ、と思う。でも、神戸のような隣県であれば、また走るかも。今はただ、津波にのまれた方々の捜索が一番。大事な家族や財産を失い、避難所での不自由な生活を強いられる皆様の力になりたい、日本国民なら誰もが思う。

育部会でも専用の口座を開設したので、ご協力願いたい。

この大震災は、復興までにかかりの期間を要する。原子炉も具合が悪く、連日放射能漏れが騒がれている。発電量不足で首都圏

は被災地域の児童の受け入れについて、保育料・主食代を無料にする。民間ではその他の経費も無料とすることを申し合わせた。この大震災で、園の祝いの事、新設・増改築の竣工式や披露

が、それを口に出せば選挙に負けるから、誰も言わない。マスコミも揚げ足取りはほどほどに、この国の健康診断結果を多角的に検証して、国民に知らせるべきだ。(H・N)